

## 福岡市美術館 平成 28 年度事業報告について

## 1 展覧会の開催

## (1) 特別企画展

展覧会名	会 期	開催日数	出品点数	観覧者数	共 催
1 物・語 ー近代日本の静物画ー	5月14日～ 7月 3日	44日	90点	8,052人	西日本新聞社 TVQ九州放送
2 ゴジラ展 ー大怪獣，創造の軌跡 (あしあと)	7月15日～ 8月31日	41日	655点	62,685人	西日本新聞社 毎日新聞社 九州朝日放送 テレビ西日本 TVQ九州放送

## ① 物・語ー近代日本の静物画ー(担当：吉田学芸員)

近代の日本において、静物画は身近な素材でだれもが描くことのできる画題として定着したが、一方で自由に画面を構成できるという特徴から創意をふくらませた画家たちによって冒険的な静物画が制作されたことは、あまり知られていない。

本展では、これまで例外的と考えられてきたそのような作品もふくめて、90点の静物画を展示。近代日本の静物画の魅力を存分に紹介した。

## ○ 関連企画

事業名	開催日	講師	参加者数
1 ギャラリートーク	5月14日, 6月11日, 18日, 25日, 7月 2日	吉田学芸員	各回 15～35人
2 つきなみ講座 「近代・日本・静物画ー「物・語」 展を楽しむためにー」	5月28日	吉田学芸員	32人
3 ワークショップ「物を語る」	6月 4日	ー	2人
4 特別講演 「静物画ー表現と再現のモアレ」	6月18日	北澤 憲昭氏 (女子美術大学 教授)	144人
5 ワークショップ① 絵画に刺しゅうしよう！ ～トートバッグ作り～	6月 5日, 26日	福岡 DIY 同好会	22人
6 ワークショップ② 額縁をつくろう！	6月12日, 26日	福岡 DIY 同好会	11人

② ゴジラ展—大怪獣，創造の軌跡(あしあと) (担当：中山副館長・山口学芸係長)

昭和 29 年に公開された東宝映画「ゴジラ」は，特撮映画というジャンルを日本映画に確立し，昭和 30 年代から平成，そして 21 世紀を迎えた平成 16 年まで，50 年間で 28 作に及ぶ大きな足跡を日本映画史上に刻んだ。今回の展覧会では，ゴジラ映画における特撮の造形，デザイン画，セット図面，記録写真等，並びにゴジラ映画をもとに生み出されたイラストや立体造形に焦点を当て，そこから日本の映画人たちの想像力・創造力・表現力について検証し，そしてゴジラという題材の持つ限りない魅力を紹介した。

また，新作映画「シン・ゴジラ」関連の展示を行った。

○ 関連企画

事業名		開催日	講師	参加者数
1	映画「ゴジラ」 特別上映会 (1954 年公開：デジタルリマスター版)	7 月 24 日		190 人
2	特別バックヤードツアー 「Godzilla meets 'F' museum.」	8 月 2 日 ～ 6 日	(協力) 九州大学芸術工学部上岡研究室， 東京大学大学院 廣瀬・谷川・鳴海研究室	132 人
3	三池敏夫氏 特別講演会 「日本特撮・昭和から平成」	8 月 11 日	三池 敏夫氏 (美術監督，特撮研究所所属)	218 人
4	つきなみ講座・特別編 「なぜ美術館でゴジラ展，なのか？」	8 月 13 日	山口学芸係長	73 人
5	まあまあマニアック？な ギャラリートーク	7 月 16 日 8 月 13 日	山口学芸係長	45 人 62 人
6	佐野史郎氏 緊急特別講演会	8 月 27 日	佐野 史郎氏(俳優)	242 人

(2) クロージング／リニューアル特別企画展(担当：正路学芸員)

展覧会名	開催場所	開催期間	開催日数	出品点数	観覧者数
1 歴史する！ Doing history！	特別展示室 B， 市民ギャラリー全室， 1，2 階ロビー	8 月 2 日～ 31 日	26 日	82 点	6,576 人

昭和 54 年の開館以降，福岡市美術館がはじめて迎える節目のこの時期に，美術館の歴史，現在，未来についてアーティストの実践とともに考える現代美術展。40 年の時を抱え込む建築空間，記録写真や資料，関わってきた人と今ここを交う人たちの声など，当館の歴史をきざみ語るモノ・者たちとともに，現在を記録記憶しながら展開。参加作家による，当館の空間に合わせた新作(映像，インスタレーション，パフォーマンス等)が展示・上演された。

○ 参加作家：飯山由貴氏，梅田哲也氏，大木裕之氏，酒井咲帆氏+ALBUS，坂崎隆一氏，田代一倫氏

○ 関連企画

事業名		開催日	作家・講師等	参加者数
1	reconstruction	7月12日～ 8月31日	坂崎 隆一氏	
2	撮影ワークショップ： 「歴史になる」 ALBUS OFFICIAL CAMERAMAN	7月23日 8月4日、31日	酒井 咲帆氏＋ALBUS	26人
3	展示作業公開中	7月26日～31日	全出品作家	
4	オープニングイベント① 参加作家によるギャラリートーク	8月2日	飯山 由貴氏、大木 裕之氏、 酒井 咲帆氏、坂崎 隆一氏、 田代 一倫氏	約50人
5	オープニングイベント② 梅田哲也パフォーマンス	8月2日	梅田 哲也氏 ゲスト：篠崎由紀子氏、miyu氏	約60人
6	歴史する！対談	8月7日	田代 一倫氏 大日方 欣一氏 〔九州産業大教授、写真評論家・ フォトアーキビスト〕	32人
7	ギャラリートーク	8月14日、27日	正路学芸員	24人
8	歴史する！トークセッション	8月21日	岸 政彦氏 (社会学者／龍谷大教授) 川端 浩平氏 (社会学者／福島大准教授) 手塚 夏子氏 (振付家・ダンサー) 進行：正路学芸員	70人

(3) クロージングイベント×福岡市美術館ラストデイ&ナイト

「歴史する！Doing history！」の関連企画として、そして休館前の最後のイベントとして、平成28年8月31日に各種ワークショップやイベントを開催。最後に当館の特徴を捉えた「福岡市美術館音頭」を参加者とともに踊り、休館とリニューアルを印象づけた。

事業名		場所	講師等	参加者数
1	ワークショップ ぬりえでお面づくり	1階ロビー		62人
2	美術館からのプレゼント	2階ロビー		
3	手塚夏子と山中カメラ、 福岡市美術館×音頭 ①手塚夏子ワークショップ 「間にあるもの音頭」	エスプラナード	講師：手塚 夏子氏(振付家／ダンサー) 鍵盤ハーモニカ演奏：大澤 寅雄氏	約200人
4	手塚夏子と山中カメラ、 福岡市美術館×音頭 ②山中カメラ 「福岡市美術館音頭」	エスプラナード	山中カメラ(現代音頭作曲家) 鍵盤ハーモニカ演奏：長津 結一郎氏 会場設営：加藤 笑平氏(アーティスト) 渡邊 瑠璃氏(アーティスト)	約400人
5	休館のごあいさつ	エスプラナード	錦織館長	約400人

#### (4) 常設企画展

〔( )内は担当学芸員〕

展覧会名		開催期間	開催日数	出品点数	観覧者数
1	サロンクバヤ：シンガポール 麗しのスタイル つながりあう世界のプラナカン・ファッション (岩永学芸課長)	4月17日～ 6月12日	49日	95点	11,219人

プラナカンとは、マラッカ海峡を中心とする地域にわたり、現地の女性と結婚して定住した中国系やインド系などの移民の子孫を指す。その文化を象徴するのがクバヤと呼ばれるブラウスと、サロンと呼ばれるパティックの腰布を組み合わせたファッションである。アジア文明博物館(シンガポール)の所蔵品を中心に、18世紀から20世紀にかけてのファッションから、東南アジアの文化の重層性、さらには日本との関わりを読み解いた。

#### ○ 関連企画

事業名		開催日	講師	参加者数
1	記念講演会 「サロンクバヤ：プラナカンのファッションとアイデンティティ 1600-1950」	4月17日	ピーター・リー (美術史家, 本展ゲストキュレーター) 岩永学芸課長	37人
2	つきなみ講座 「サロンクバヤーファッションとしてのパティック」	4月23日	岩永学芸課長	13人

#### (5) 常設展

〔( )内は担当学芸員〕

展覧会名	開催場所	期間	内容
TRACES   轍 ー近現代美術コレクション形成のあゆみをたどる (正路学芸員)	近現代 美術室	平成27年6月21日～ 平成28年8月31日	当館の代表的な所蔵作品による展示。リニューアル休館を見据え、収集の歴史を振り返るべく作品を収集年順に展示。当館で収集し、現在はアジア美術館所蔵となっている作品も特集した。
GIFTS～平成27年度新収 藏品・近年の寄贈作品 (山口学芸係長)	企画展示室 小作品室 日本画工芸室	4月12日～ 6月19日	昨年度の新収藏品と合わせ、この10数年間に個人(作家・作家の遺族を除く)の所蔵家よりご寄贈頂いた作品59点を展示。

展覧会名	開催場所	期間	内容
This Is Our Collection/ これが私たちのコレクション	1, 2階 常設展示室 (全室)	6月21日～ 8月31日	<p>広大な時空間を対象とした当館のコレクションの成り立ちを紹介しながら、福岡市美術館と言えこれ、と言う作品を一堂に展示。</p> <p>1階・古美術室では、全ての寄贈コレクション及び一般購入資料、各々を代表する美術品を厳選(会期中展示替えあり)。</p> <p>2階・企画展示室・小作品室・日本画工芸室では、油彩画、日本画、版画、素描など、ジャンルごとに代表作を厳選。近現代美術室では紹介しきれない隠れた名作を一堂に展示した。</p>

#### (6) 展覧会の観覧者状況

(単位：人)

区分	常設展	特別企画展		貸会場展		合計	
		展覧会数	観覧者数	展覧会数	観覧者数	展覧会数	観覧者数
27年度	(296) 90,896	4	(1,790) 311,459	170	(201) 207,121	174	(1,985) 609,476
28年度*	(268) 35,077	3	(697) 77,313	46	(252) 74,266	49	(1,425) 186,656
開館以来 累計	(266) 2,955,277	128	(1,247) 5,034,024	6,872	(366) 15,900,461	7,000	(2,151) 23,889,762

\* 平成28年度の数値については、改修工事のため、同年4月1日から8月31日までの実績。

[( )内は、常設展・特別企画展・貸会場展は開催日1日あたり、合計は開館日1日あたりの観覧者数]

## 2 美術品の収集

### (1) 新規収集

#### ① 寄贈

#### (ア) 近現代美術 55点(油彩, 日本画, 水彩, 彫刻, 研究資料)

郷土関連の近現代美術家の作品の寄贈を受けた。

##### ○ 主な作品

- 彫刻《兎》(朝倉文夫)外1点
- 日本画《日本1958》(朝倉撰)外1点
- 彫刻《レベッカ》(朝倉響子)外5点
- 油彩《White Construction 97-2》(光行洋子)外1点
- 油彩《ザリガニとりの日々》(梅野恒子)外2点
- 彫刻《女優志願》(柴田善二)
- 彫刻《腕木のない馬車》(宮崎準之助)外1点
- 油彩《(題不詳)》(桜井孝身)外1点
- 素描《(題不詳)》(池田龍雄)
- 版画《LE CERF VOLANT 凧》(松谷武判)外3点
- 版画《迷路》(S. W. ヘイター) など

#### (イ) 古美術 218件(絵画, 書跡, 陶磁, 漆工, 金工, 染織, その他, 研究資料)

仙厓作品, 中国陶磁, 中近世絵画など, 大規模な一括コレクションを含む多彩な作品の寄贈を受けた。

##### ○ 主なコレクション及び作品

- 「小西コレクション」(仙厓関係資料) 55件
- 「門田コレクション」(中国陶磁資料) 151件
- 《阿弥陀三尊来迎図》鎌倉～南北朝時代
- 《美濃天目茶碗》江戸時代
- 衣笠守正筆《和朝曲水図屏風》近代
- タン・シンイン夫人《ガルーダ文様更紗テーブルランナー》 1943-45年
- タン・リンニオ《ペチコート》 1950年代

### (2) 福岡市文化芸術振興財団からの買戻し(購入)

- 油彩《ルーレット》(菊畑茂久馬)
- 漆器《曹操銅雀台図描金カードゲーム箱》
- 水彩《樹の子供 7》(大浦こころ)
- 彫刻《青銅弥勒菩薩頭部》

### 3 教育普及事業

#### (1) 夏休み子どももおとなも美術館(担当：教育普及係)

平成2年以降、ほぼ毎年テーマを設けて開催している子ども向けの企画を、平成28年度はクロージングにあわせ、大人までに対象を拡大。常設展示を楽しむための鑑賞用ツールを貸し出したほか、キッズコーナーでの参加型作品の展示、読書室での学芸員おすすめ本の紹介、ボランティアによるギャラリートークを実施した。また、毎年11月に開催している「ファミリーDAY」と3月に開催している「いきヨウヨウ講座」を前倒しし、本期間中に行った。

#### ○ 実施内容

事業名	開催期間	開催日数	内容	参加者数
1 アート特別調査員	7月20日～ 8月31日	37日	常設展示を楽しんでもらうための鑑賞用ツール「リサーチバッグ」を貸し出しし、ワークシートを配布。貸出は、当館ボランティアが行った。	988人
2 美術館おすすめ本	7月20日～ 8月31日	37日	館長・副館長そして学芸員が子どもに向けておすすめする本、大人に向けておすすめする本を各1冊選び、読書室で紹介した。	
3 オーギカナエ 未来のたねへ	7月20日～ 8月31日	37日	キッズコーナーをデザインしたアーティスト・オーギカナエによる、参加型作品を展示。	
4 えがこう！ 大濠公園のカタチ	8月3日～ 7日	5日	「いきヨウヨウ講座」の代わりとして実施。ただし、対象年齢は設定せず、さまざまな年代の人々が交流できるようにした。アーティスト・御笹朋子が考案したワークショップ。 大濠公園で見られるモチーフや当館の作品をモデルにした型をつくり、ステンシル版画の要領で1階常設展示横のガラス窓に、色とりどりの形を描き出した。 なお、九州大学、西南学院大学、福岡教育大学の学生がスタッフとして参加。	402人
5 ファミリーDAY	8月7日	1日	館内各所で下記の親子向けワークショップを実施。 ・べつ顔に変身！マスクをつくろう！ ・ミニミニワークショップ ・キミは名探偵！美術館最後のナゾ	234人
6 ギャラリーツアー 特別編	8月16日～ 28日	12日	ボランティアによるギャラリーツアー。単眼鏡を使って、作品の詳細を観察。11:00からは子ども向け、14:00からは大人向けに実施。	191人

## (2) こどもアートアドベンチャー(担当：土橋囑託学芸員)

子どもたちと美術・美術館とのよりよい出会いの場を提供することを目的に、平成9年から展開している市内の小・中学校を対象とした教育普及活動。展示室でのボランティアによる対話型ギャラリートーク、スクールツアーを実施した。

種別	件数	学生	引率
大 学	4 件(4 件)	217 人(217 人)	6 人( 6 人)
高 校	1 件(1 件)	9 人( 9 人)	1 人( 1 人)
中学校	4 件(4 件)	545 人(545 人)	37 人( 37 人)
小学校	0 件(0 件)	0 人( 0 人)	0 人( 0 人)
未就学	0 件(0 件)	0 人( 0 人)	0 人( 0 人)
計	9 件(9 件)	771 人(771 人)	44 人( 44 人)

[( )内は市内の内数]

## (3) 講座(つきなみ講座)

美術館の仕事と美術のさまざまな側面を知ってもらうため、月1回、美術館職員が自身の研究・業務内容、特定のテーマ等について講座を行った。なお、9月以降は、福岡市博物館、福岡アジア美術館にて実施した。

### ○ 実施内容

	テーマ	開催日	担当	参加者数
1	サロンクバヤ ーファッションとしてのバティック	4月23日	岩永学芸課長	13人
2	近代・日本・静物画 ー「物・語」展を楽しむために	5月28日	吉田学芸員	32人
3	「TRACES   轍」展をめぐるあれこれ	6月25日	正路学芸員	11人
4	「？」から始まる美術鑑賞 ー夏休みこどももおとなも美術館より	7月30日	土橋囑託学芸員	8人
5	なぜ美術館でゴジラ展，なのか？	8月13日	山口学芸係長	73人
6	福岡市美術館のリニューアル	9月17日	中山副館長	20人
7	「重要文化財」ってなに？ ー文化財保護法のあゆみ	10月15日	後藤主任学芸主事	13人
8	ニューヨーク ちょっとマニアックな(?)ミュージアム巡り	11月19日	鬼本主任学芸主事	35人
9	福岡市美術館の黒田資料	12月17日	宮田学芸員	24人
10	福岡市美術館の仏教美術ー仏画の表現ー	1月21日	錦織館長	52人
11	「どこでも美術館」で館外へ！ ーリニューアル休館中の活動報告	2月18日	崎田学芸員	23人
12	ラファエル・コラン《海辺にて》引越大作戦！	3月18日	渡抜学芸員	33人



#### (4) ボランティア活動

平成 28 年 3 月末時点で 136 人のボランティアが登録し、「新聞情報」, 「図書整理」, 「美術家情報整理」, 「ギャラリーガイド」の 4 つのグループに分かれて, 週 1 回程度, 美術館で活動をしている。

##### ① 活動内容

	事業名	人数	内容	担当
1	新聞情報 ボランティア	40 人	新聞掲載の美術関連記事の切り抜き, ファイル作業など	後藤学芸主事
2	図書整理 ボランティア	21 人	美術館蔵書の整理, データ入力など	中務嘱託司書
3	美術家情報整理 ボランティア	13 人	美術館に届く展覧会案内状の分類, 整理, データ入力など	吉田学芸員
4	ギャラリーガイド ボランティア	61 人	一般来館者・学校団体への常設展示作品 の紹介。休館後は, 次年度に実施する街 歩きツアーの企画。	教育普及係

##### ② 共通活動

- ・ 夏休み子どもおとなも美術館のサポート
- ・ ボランティア総会(5月9日) 会 場: 福岡市美術館講堂
- ・ 館外見学研修(10月30日) 研修先: 熊本市現代美術館, 熊本城外回り
- ・ 館外見学研修(3月8日) 研修先: 長崎県美術館

#### (5) どこでも美術館

休館中のアウトリーチ活動として, 学校や公民館, 病院等で作品鑑賞や美術体験ができる道具を制作。平成 28 年度は, 道具として「絵画・彫刻ボックス」「やきものボックス」「染め・織りものボックス」を制作し, 市内小学校 4 校(435 人)と市内中学校 2 校(168 人)でアウトリーチプログラムを実施した。

また, 3 月 25 日になみきスクエアにおいて開催したワークショップにおいても同事業の制作物を活用した。(参加者数: 43 人)

#### 4 第 7 回福岡ミュージアムウィーク

博物館・美術館の役割を広く多くの方々に知ってもらうために制定された「国際博物館の日」(5 月 18 日)を記念して, 5 月 14 日から 22 日までの 9 日間, 福岡市博物館・福岡市美術館・福岡アジア美術館・福岡県立美術館等 14 施設が連携し, 様々なイベントを通じて「出会いの場」, 「知識の場」, 「発見の場」である博物館・美術館をアピールした。

## (1) 共通事業

- ① 期間中の常設展観覧料無料
- ② スタンプラリー

## (2) 福岡市美術館事業

事業名	開催期間	講師	参加者数
1 クロージングトークショー 「これからの美術館」	5月21日	藤 浩志氏(アーティスト), 中村 政人氏(アーティスト), 逢坂 恵理子氏(横浜美術館館長) 司会：岩永学芸課長	200人
2 森で遊ぶマントをつくろう ～そしてお散歩に出かけよう！	5月15日	オーギカナエ氏(アーティスト)	20人
3 キッズコーナー ミニミニワークショップ	5月17日 ～20日	オーギカナエ氏(アーティスト)	92人
4 建築ツアー	5月14日, 22日	山下主査(美術館大規模改修担当) 鬼本主任学芸主事	80人
5 ハイライトツアー	5月16日 ～24日	ボランティア	138人

## 5 読書室

読書室では、美術に関する書籍や全集、こども向けの美術書など約3,000冊、国内外の美術雑誌を30数種類配架し、また当館開催の特別展・常設展に関する資料の特集を常時行った。

平成28年度利用者数：2,838人(開館日数131日、一日平均利用者数21人)

## 6 紀要

職員の研究、調査成果を発表、蓄積することを目的に『福岡市美術館紀要第5号』を発行した。

### ○ 執筆内容

	内容	執筆者
1	ゴジラ展 大怪獣、創造の軌跡(あしあと)、その内容について	山口学芸係長
2	【報告文】アニッシュ・カプーア《虚ろなる母》の輸送のための保護処置 ーシクロドデカンの有効性についてー	渡抜学芸員
3	【資料紹介】満州の甲斐巳八郎 雑誌『協和』掲載挿絵・執筆記事②	中山副館長
4	『雲中庵茶会記』翻刻稿①	後藤主任学芸主事 岩永学芸課長 宮田学芸員

## 7 冬のおとなミュージアム

平成 26 年度より実施している 3 館連携企画。3 館のコレクションを活用した企画展を効果的にアピールし、より多くの市民にコレクションを観覧してもらうため、統一テーマの展覧会を開催した。平成 28 年度のテーマは「超☆現実」。美術館は休館中のため展示はなく、学芸員が、福岡アジア美術館、福岡市博物館へ出向いて、両館の学芸員ともにギャラリートークを行ったほか、バスツアーにおいて休館中の館内を参加者に紹介した。

○ 実施内容(美術館に関するもののみ)

事業名		開催日	講師	参加者数
1	あなたの知らない バスツアー	1月28日	鬼本主任学芸主事 福岡学芸課長、野島学芸員(福岡市博物館) 五十嵐学芸員(アジア美術館)	20人

## 8 他館における展示

休館中の所蔵作品の活用として、全国の美術館において、所蔵作品の巡回展等において展示を行った。その他、黒田家の美術品については博物館にて、アジア系作家の近現代美術品についてはアジア美術館にて、その一部の展示を実施。

	展覧会名	開催日	開催地	当館所蔵品
①	夢の美術館 ーめぐりあう名画たち	12月20日～ 2月5日 外	沖縄県立博物館・美術館 長崎県美術館	ダリ、ミロ、ウォーホル、 フジタなど 39点
②	吉田博展	4月9日～ 3月20日 外	千葉市美術館 郡山市立美術館 久留米市美術館	吉田博 油彩・水彩 18点
③	高麗と朝鮮の美術 外	1月1日～ 2月12日 外	九州国立博物館	茄子双鳥図 山水行旅図 外
④	新春酉年企画 鳥	1月5日～ 2月19日 外	九州歴史資料館	木造十二神将立像・申神 木造十二神将立像・酉神 木造十二神将立像・戌神

## 平成28年度 主な展覧会の開催状況

福岡市美術館

展覧会名	会場	会期	観覧者数	主催者
改組 新 第2回 日展	特A, B外	3月26日 ~ 4月17日	8,721 人	公益社団法人 日展 西日本新聞社 テレビ西日本 外
第100回 二科展	特A, B外	4月19日 ~ 4月24日	3,710 人	公益社団法人 二科会 西日本新聞社 テレビ西日本
第83回 独立福岡展	特A, B	4月26日 ~ 5月1日	1,880 人	独立美術協会 西日本新聞社
第29回 蘭亭書道展	特B外	5月3日 ~ 5月8日	3,606 人	朝日カルチャセンター 九州朝日放送 朝日新聞社
第66回 モダンアート展	特A	5月3日 ~ 5月8日	1,506 人	モダンアート協会
第16回 上野彦馬賞 九州産業大学 フォトコンテスト	特B	5月10日 ~ 5月15日	563 人	毎日新聞社 九州産業大学
第69回 示現会展	特B外	5月17日 ~ 5月22日	3,804 人	一般社団法人 示現会 西日本新聞社
物・語 —近代日本の静物画—	特A	5月14日 ~ 7月3日	8,052 人	福岡市美術館 西日本新聞社 TVQ九州放送
第5回 慎思会書作展	特B	5月24日 ~ 5月29日	1,283 人	福岡県美術協会 RKB毎日放送 朝日新聞社 外
リベルテ絵画展	特B	5月31日 ~ 6月5日	926 人	リベルテ113美術研究会
75周年記念創元展	特B外	6月7日 ~ 6月12日	3,243 人	文化庁 テレビ西日本 TVQ九州放送 外
第30回記念 日洋展	特B外	6月14日 ~ 6月19日	1,942 人	一般社団法人 日洋会 西日本新聞社 テレビ西日本
第112回 太平洋展 第51回 太平洋西日本展	特B外	6月21日 ~ 6月26日	3,814 人	太平洋美術界西日本支部 西日本新聞社
第17回 日本水彩久留米支部展	特B	6月28日 ~ 7月3日	1,188 人	日本水彩画会久留米支部
星雲大師一筆字書道展	特B	7月5日 ~ 7月10日	717 人	NPO法人 国際ブリーダー
画業50周年記念 光行洋子展	特B	7月12日 ~ 7月18日	1,999 人	光行 洋子
西日本新聞 書道之友展2016	特B外	7月20日 ~ 7月24日	4,286 人	西日本新聞社 西日本新聞書道之友
ゴジラ展 —大怪獣, 創造の軌跡 (あしあと)	特A	7月15日 ~ 8月31日	62,685 人	福岡市美術館, 西日本新聞社, 毎日新聞社, 九州朝日放送, テレビ西日本, TVQ九州放送
歴史する! Doing history!	特B外	8月2日 ~ 8月31日	6,576 人	福岡市美術館

## 福岡アジア美術館 平成 28 年度事業報告について

## 1 展覧会の開催

## (1) 特別企画展

展覧会名	会 期	開催日数	出品点数	観覧者数	共 催
① 百花繚乱 中国リアリズムの煌めき	4月16日～ 5月22日	32日	76点	3,060人	西日本新聞社 TVQ九州放送 公財)日中友好会館 中国美術家協会
② おいでよ！ 絵本ミュージアム2016	7月26日～ 8月21日	27日	—	46,022人	西日本新聞社 テレビ西日本 NPO法人子ども文化コミュニ

## ① 中国第12回全国美術展受賞優秀作品による「現代中国の美術」

## 百花繚乱 中国リアリズムの煌めき (担当：五十嵐学芸員)

中国全土で5年に一度開かれる政府主催の公募展である全国美術展の第12回展の受賞作品(金・銀・銅・優秀・受賞ノミネート賞)から76点を選び、中国画、油彩画をはじめ、水彩画、版画、漆絵、年画、アニメーションなど多様なメディアによる中国現代美術を紹介した。福岡では6回目の開催であり、新規の客層開拓を目指して、食や文化のトーク、イベント、協賛企画を行った。

## ② おいでよ！絵本ミュージアム2016 (担当：ラワンチャイクン収集展示係長)

福岡の夏の定番企画「おいでよ！絵本ミュージアム」シリーズの第10回目。四季を感じさせる絵本的空間のなかで、「しあわせなじかん」をテーマにした絵本約1,000冊と原画を展示。彫刻ラウンジやホールなどではワークショップやイベントを連日展開した。

## (2) 常設企画展

〔( )内は担当学芸員、担当者〕

展覧会名	会 期	開催日数	出品点数	観覧者数
アート横断シリーズV 創造のエコロジー (中尾交流係長)	2月18日～ 3月21日	28日	8点	4,317人

小企画展「アート横断」シリーズの5回目。来館者がいつでも利用できる彫刻ラウンジをはじめ、メイン会場にした本展では、「創造のエコロジー(生態学)」というテーマのもと、アジア各地から7組のアーティストやデザイナーを紹介。作品展示だけでなく、会期中のさまざまなイベントを通じて、新しい美術館体験を生み出した。

### (3) コレクション展

〔( )内は担当学芸員, 担当者〕

企画展名	期 間	内 容
びっくり！そっくり！ ～究極のリアル (ラワンチャイクン収集展示係長)	4月21日～ 8月23日	絵画や彫刻で本物そっくりに表現された「ひと」や「もの」を展示。いまにも動き出しそうな「リアル」に迫る企画となった。出品数18点。
瞑想の森 (中尾交流係長)	4月21日～ 7月21日	きらめく世界や逡巡する自己を投影した表現を通して、鑑賞者を瞑想の森へと誘うような作品を紹介した。出品数12点。
第31回夏季オリンピック・ 第15回夏季パラリンピック スポーツの祭典 —めざせ金メダル！ (江上囑託員)	7月14日～ 10月14日	スポーツにはじまり、勝ち負け、記録、競争だけにとどまらない、アジア各地に根付いた独自の身体文化をめぐる多様な表現を紹介した。出品数20点。
日本・フィリピン国交正常化60周年 記念 タイム・トラベル —美術で知るフィリピン (中尾交流係長)	8月25日～ 12月25日	フィリピンの知られざる歴史や文化、その中でたくましく生きる民衆たちの姿を、まるでタイム・トラベルをするかのように時系列で紹介した。出品数18点。
心の旅、ベトナム —日本の美術コレクター寄託 作品より (五十嵐学芸員)	9月8日～ 12月25日	「アジアフォーカス・福岡国際映画祭2016」ベトナム大特集上映の連携企画。当館のベトナム美術寄託作品を中心に1940年代から現在までのベトナム美術を紹介した。出品数65点(内、寄託作品56点)。
アートでつながる —東南アジアの美術グループ (柏尾囑託員)	10月6日～ 12月25日	作家同士の繋がりに着目した展示。とくに東南アジアにおいて、重要だと思われるアート・グループ6組を紹介した。出品数15点。
アニッシュ・カプーアとイン ドのカタチ (趙学芸員)	1月2日～ 5月9日	市美所蔵のアニッシュ・カプーア作品と、同時代のインド現代美術作品、及びそれらの創造の源泉となったインドのタントラ絵画を紹介した。出品数31点(内、市美作品9点)。
冬のおとなミュージアム「超☆現実」 演じる写真 (五十嵐学芸員)	1月2日～ 3月21日	三館連携企画の3回目。今年のテーマは「超☆現実」。当館では現実にはない世界を作り上げる演出写真を中心に紹介した。出品数28点。

#### (4) 展覧会の観覧者状況

(単位：展，件，人)

区分	常設展	特別企画展		貸会場展		合計		あじびホール	
		展覧会数	観覧者数	展覧会数	観覧者数	展覧会数	観覧者数	件数	入場者数
27年度	(165) 49,477	2	(846) 54,117	75	(337) 186,158	77	(932) 289,752	135	11,361
28年度	(209) 65,061	2	(832) 49,082	85	(231) 137,182	87	(808) 251,325	135	12,874
過去10年間の平均	(172) 51,038	3	(785) 80,017	69	(268) 127,972	72	(848) 259,027	126	11,721
開館以来集計	(170) 883,439	54	(714) 1,558,577	1,015	(269) 2,017,430	1,069	(819) 4,459,446	1,963	186,761

\* ( )は、常設展・特別企画展・貸会場展は開催日1日あたり、合計は開館日1日あたりの観覧者数

## 2 美術交流事業

### (1) 美術作家招聘事業

招聘者名(国名) [滞在期間]	主な活動内容	
① ジュリアン・エイブラハム・“トガー” (インドネシア) [9月7日～12月5日]	作品制作	福岡・博多の歴史や伝統に焦点をあてたプロジェクトとして、かつて博多にいたという、アフロ姿の盆栽武(ぼんさいたけし)という架空の人物をテーマに、福岡の若いアーティストたちと共同制作をしながら、ゆかりの品々を集めた「盆栽武博物館」を作り上げた。
	ワークショップ	「Bonsai Dance Workshop」 春日市立春日北中学校 1年生 147人, 春日市立春日北中学校(11/14, 11/15)
	ツアー	「博多のまちと人をめぐるツアー」28人, (11/19)
	トーク	「滞在者によるトーク～これまでの活動と福岡での予定～」 56人, あじびホール(9/19) 「アジアン・アーツ・エア・フカカ：ゲート04 ジョグジャカルタ, 台北」 28人, art space tetra(10/16) 「アーティスト・トーク」51人, 彫刻ラウンジ(12/3)
	パフォーマンス	午前42人, 午後23人, カラマリ・インク(12/3)
	展覧会	「第15回アーティスト・イン・レジデンスの成果展」 学生・子ども含む約2,000人, カラマリ・インク(12/3), 7階ロビー(12/4-25)

## 2 美術交流事業

### (1) 美術作家招聘事業

招聘者名(国名) [滞在期間]		主な活動内容	
② ロー・イーチュン ／羅懿君(台湾) [9月12日～12月6日]	作品制作	台湾と日本の交易に関してリサーチし、かつてこの地で活躍したという架空の博多商人の部屋をイメージし、バナナやパイナップル、檜、鹿など、台湾の輸出品にちなんだ古い写真を加工して仕立てた屏風作品と、約 2,000 本分のバナナの皮を集めて制作した鹿皮風敷物でインスタレーション作品を完成させた。	
	ワークショップ	「バナナの皮で影絵を作ろう！」 福岡市立有田小学校 3 年生 117 人，彫刻ラウンジ(10/21)	
	トーク	「滞在者によるトーク～これまでの活動と福岡での予定～」 一般 56 人，あじびホール(9/19) 「アジアン・アーツ・エア・フクオカ：ゲート 04 ジョグジャカルタ，台北」28 人，art space tetra(10/16) 「スタジオ訪問とトーク」 福岡市立有田小学校 3 年生 117 人， 交流スタジオ(10/21) 「アーティスト・トーク」51 人，7 階ロビー， 彫刻ラウンジ(12/3)	
	展覧会	「第 15 回アーティスト・イン・レジデンスの成果展」 学生・子ども含む 2,000 人(12/3-25)	

### (2) 研究者・学芸員等招聘事業

招聘者名(国名) [滞在期間]		主な活動内容	
テッサ・マリア・グアゾン (フィリピン) [1月11日～3月21日]	調査研究	当館のコレクション，アーカイブ資料などを使って，1970 年代以降のフィリピン現代美術について調査を行った。	
	トーク	「あじび美術講座 2017 連続講座 フィリピン現代美術入門①場をつくる手法：フィリピンのインスタレーション」 44 人，あじびホール(2/4) 「あじび美術講座 2017 連続講座 フィリピン現代美術入門②アートと地域：福岡，フィリピン，東南アジア」 53 人，あじびホール(3/11)	



### (3) 受入支援事業

招聘者名(国名) [滞在期間]		主な活動内容	
① ティダラット・チャンタ チュア(タイ) [5月11日～6月9日] シンガポールのユナイテッド・オーバーシーズ銀行の助成で来日。	作品制作	刺繍と水彩を組み合わせ、福岡や京都の風景や建物などを描いた平面作品5点を制作した。	
	トーク	「滞在者によるトーク」62人, 交流スタジオ(6/4)	
	作品公開	7階ロビー(6/4～7/19)	
② キ・スルギ(韓国) [5月30日～6月29日]	作品制作	危険や恐れをテーマに、福岡の人々にアンケートやインタビューをおこない、それを元に写真作品6点を制作した。	
	トーク	「滞在者によるトーク」62人, 交流スタジオ(6/4) 「滞在者によるトーク Vol. 2」67人, 交流スタジオ(6/25)	
	作品公開	M8 ラウンジ(6/24～7/19)	
③ プンイサ・シンラパラツ ァミー(タイ) [6月20日～7月30日]	作品制作	人々の生活スタイルや街についてリサーチし、木材を蝶番でつなぐ手法による立体作品2点と、ティーバッグを使ったドロ잉作品10点を制作した。	
	ワークショップ	「ソムオーさんの蝶番ワークショップ」 23人, 交流スタジオ(7/23)	
	トーク	「滞在者によるトーク Vol. 2」67人, 交流スタジオ(6/25) 「スタジオ見学とトーク」福岡市立和白丘中学校 288人, 交流スタジオ(7/7) 「スタジオ見学とトーク」福岡市立馬出小学校 74人, 交流スタジオ(7/8) 「スタジオ見学とトーク」福岡市立愛宕小学校 127人, 交流スタジオ(7/11) 「スタジオ見学とトーク」 西南学院小学校 72人, 交流スタジオ(7/21) 「アーティスト・トーク」47人, 8階ロビー(7/23)	
	作品公開	8階ロビー(7/23～9/6)	
④ パン・ルー／潘律 (中国) [5月21日～6月23日]	調査・研究	アジアにおけるアートアーカイブについて、当館の資料を用いて調査したほか、当館の活動についても調査した。	
	トーク	「滞在者によるトーク」62人, 交流スタジオ(6/4)	
	展覧会	「アーカイブの流れ：90分間の展覧会」 art space tetra(6/22)	

### (4) 他館学芸員などによるアジア美術トーク

- ① 「タン・ダウの軌跡、再び—シンガポール・福岡」

8月28日 14:00-16:00

後小路雅弘(九州大学大学院人文科学研究院 教授)

チャーメーン・トー(シンガポール国立美術館 学芸員)

- ② 「美術作家から革命家へー植民地時代から共産主義時代(1945-1954)の北ベトナムにて」  
3月18日 15:00-16:30  
フィービー・スコット(シンガポール国立美術館 学芸員)

#### (5) 地域交流事業

- ① 「博多リバレイン灯明」(「第21回博多灯明ウォッチング2016」同時開催)  
10月22日

博多リバレインが毎秋開催している「博多リバレイン灯明」に、美術作家招聘事業で滞在していたロー・イーチュン(台湾)が参加した。数千個の灯明をつかって、台湾で幸福、富、長寿の神様として親しまれている福祿寿を、博多リバレイン1階のフェスタスクエアに表現した。

### 3 美術品の収集について

#### (1) 購入

レオニーリョ・ロドリゴン「市民軍」(版画) 外11点  
(内訳) 絵画1点 映像1点 版画10点 合計12点

#### (2) 寄贈

リュウ・ロンフォン(劉榮楓)「満洲風景」(絵画) 外16点  
(内訳) 絵画3点 版画3点 映像1点 写真9点 インスタレーション1点 合計17点

### 4 ミュージアム施策事業

#### (1) 「福岡ミュージアムウィーク」

5月14日～22日

- ① 三井昌志トークショー  
5月21日(土)80人, あじびホール
- ② ギャラリーツアー  
5月16日(月), 17日(火), 19日(木), 20日(金)34人, アジアギャラリー
- ③ バックヤードツアー  
5月15日(日), 22日(日) 40人, バックヤード
- ④ アジアの絵本の読み聞かせ  
5月14日(土), 15日(日), 21日(土), 22日(日)  
未就学児と保護者29人, キッズコーナー
- ⑤ レジデンス招聘者100人記念! 滞在成果映像作品上映会  
5月14日(土)30人, あじびホール
- ⑥ 「百花繚乱 中国リアリズムの煌めき」展関連イベント  
墨画パフォーマンス～「龍」を描く～  
5月15日(土)40人, 彫刻ラウンジ

## 5 冬のおとなミュージアム

### (1) 「演じる写真」

平成 29 年 1 月 2 日(月)～3 月 21 日(火) 68 人

三館連携企画の 3 回目。今年のテーマは「超☆現実」。当館では、美術作家自身が別の誰かに扮して登場する作品や、現実にはない世界を作り上げる演出写真を中心に紹介した。

### (2) おでかけトーク

① 平成 29 年 1 月 21 日(土)13:30～14:30 アジア美術館 30人

野島学芸員(博物館), 鬼本主任学芸主事(美術館), 五十嵐学芸員(アジ美)

② 平成 29 年 2 月 12 日(日)13:30～14:30 博物館 30人

福間学芸課長, 野島学芸員(博物館), 鬼本主任学芸主事(美術館), 五十嵐学芸員(アジ美)

### (3) あなたの知らないバスツアー

平成 29 年 1 月 28 日(土)13:00～18:00 アジア美術館, 美術館, 博物館 20 人

福間学芸課長, 野島学芸員(博物館), 鬼本主任学芸主事(美術館), 五十嵐学芸員(アジ美)

## 6 その他

### (1) 他館における展示

① 「だまし絵王エッシャーの挑戦状」

熊本市現代美術館

平成 28 年 4 月 9 日～6 月 12 日

8 点貸出

② 「TRACES | 轍 近現代美術コレクション形成のあゆみをたどる」

福岡市美術館

平成 28 年 6 月 26 日～8 月 31 日

8 点貸出(映像資料 1 点貸出)

③ 「よこはま若葉町多文化映画祭 2016」

シネマ・ジャック&ベティ(横浜)

平成 27 年 8 月 20 日～28 日

3 点貸出

④ 「シンガポール国立美術館 開館記念展」

シンガポール国立美術館

平成 27 年 11 月 24 日～平成 29 年 9 月 30 日

35 点貸出(映像資料 1 点貸出) ※継続貸出

## (2) 教育普及

### ① スクールプログラム等による団体見学受入

小学校 21校 1,925人

中学校 18校 1,029人

高等学校 1校 24人

### ② 職場体験学習等受入

中学校 12校 55人

## (3) ボランティア

### ○ グループ別延べ人数(一人が複数のグループで活動可)(平成28年4月現在)

グループ	活動内容	計
案内・解説	アジアギャラリーの作品解説や施設案内	61人
図書資料	図書資料の整理・修理, 配架	57人
学芸資料	新聞記事のスクラップ, 学芸関連使用の整理補助	43人
展覧会情報	展覧会のチラシの整理, 雑誌掲載記事の整理	19人
広報	美術館広報誌や特別企画展などの印刷物の発送	25人
読み聞かせ	絵本や紙芝居の読み聞かせ	24人
活動支援	ボランティア向けブログの作成やメール配信, 研修や親睦会の企画	10人
交流	滞在美術作家・研究者の活動や地域交流イベントなどのサポート	197人
	延べ人数	436人
	ボランティア登録者数	197人

## 平成28年度 主な展覧会の開催状況（3月末現在）

福岡アジア美術館

No.	展覧会名	会場	会期	観覧者数	主催者
1	松永豊秀遺墨展 併催 30周年記念蒼松会展	企画ギャラリーA, B, C	3月31日 ～ 4月5日	619	かな書道研究 蒼松会
2	キルト i n ライフ おくむらグループ展	交流ギャラリー	3月31日 ～ 4月5日	522	奥村 支依子
3	中西敏貴写真展	交流ギャラリー	4月7日 ～ 4月12日	406	中西 敏貴
4	字解プロジェクト	交流ギャラリー	4月14日 ～ 4月19日	480	字解プロジェクト実行委員会
5	百花繚乱 中国リアリズムの煌めき	企画ギャラリーA, B, C	4月16日 ～ 5月22日	3,060	福岡アジア美術館, 西日本新聞社 TVQ九州放送, (公財)日中友好会館 中国美術家協会
6	金 汶浩茶碗展	交流ギャラリー	4月21日 ～ 4月26日	402	金 汶浩
7	松田芙美子アート表装 游心会作品展	交流ギャラリー	4月28日 ～ 5月3日	603	創作工房游心
8	満園順子作品展 (エモーション)	交流ギャラリー	5月5日 ～ 5月10日	450	満園 順子
9	姚明水墨画書道展	交流ギャラリー	5月12日 ～ 5月17日	434	NP0法人日中国際交流センター
10	第1回 写遊 結人福岡 写真展	交流ギャラリー	5月19日 ～ 5月24日	336	写遊 結人福岡
11	第5回アルシュ展	交流ギャラリー	5月26日 ～ 5月31日	476	アルシュ
12	パッチワークキルト展2016 ～和布に魅せられて	企画ギャラリーA	6月2日 ～ 6月7日	951	古裂あそび 絲
13	アートスタジオ・アライブ 鉛筆画教室作品展	企画ギャラリーB, C	6月2日 ～ 6月7日	1,588	アートスタジオ・アライブ鉛筆画教室
14	金子恵 西日本新聞挿絵原画展	交流ギャラリー	6月2日 ～ 6月7日	770	金子恵
15	花と光のフェスティバル「押花で描く雅の世界」「グラスアート・レカンフラワー・アートプリント」	企画ギャラリーA, B	6月9日 ～ 6月14日	1,322	アート雅
16	田尻砂津子フックド・ラグ展	企画ギャラリーC	6月9日 ～ 6月14日	437	キルターズ・スタジオ・ピオニー
17	中国現代水墨画家展	交流ギャラリー	6月9日 ～ 6月14日	274	郭 世昌
18	アジア美術家連盟 日本委員会展	企画ギャラリーA, B, C	6月16日 ～ 6月21日	1,047	アジア美術家連盟 日本委員会
19	暮らしを彩るパッチワークキルト展	交流ギャラリー	6月16日 ～ 6月21日	1,797	リメンバーキルト
20	Heart Art in Fukuoka～第2回福岡にアートが集う日～	企画ギャラリーA, B, C	6月23日 ～ 6月28日	1,060	一般社団法人 Heart Art Communication
21	私の好きなパターンでつくるパッチワークキルト展	交流ギャラリー	6月23日 ～ 6月28日	844	あるページ
22	90回記念国展福岡展	企画ギャラリーA, B, C	6月30日 ～ 7月5日	2,039	国画会
23	90回記念国展福岡展	交流ギャラリー	6月30日 ～ 7月5日	1,381	国画会
24	第11回ぶらり筆ペンの会作品展	企画ギャラリーA	7月7日 ～ 7月12日	815	ぶらり筆ペンの会
25	江海・龍展	企画ギャラリーB	7月7日 ～ 7月12日	893	江藤 海
26	初まりの向こうに VOL. 1展	企画ギャラリーC	7月7日 ～ 7月12日	541	角田 奈々
27	藍と絞り シボリコミュニティー福岡 第16回作品展	交流ギャラリー	7月7日 ～ 7月12日	403	シボリコミュニティー福岡
28	第44回 日本の書展 九州展	企画ギャラリーA, B, C	7月14日 ～ 7月18日	1,544	西日本新聞社
29	第44回 日本の書展 九州展	交流ギャラリー	7月14日 ～ 7月18日	891	公益財団法人 全国書美術振興会

No.	展覧会名	会場	会期	観覧者数	主催者
30	九州日中水墨画研究会 第18回書画作品展	交流ギャラリー	7月21日 ～ 7月26日	495	九州日中水墨画研究会
31	おいでよ！絵本ミュージアム2016	企画ギャラリーA, B, C	7月26日 ～ 8月21日	46,022	福岡アジア美術館, 西日本新聞社 テレビ西日本, NPO法人子ども文化コミュニティ
32	宋軍・黒白之美ー水墨山水展	交流ギャラリー	7月28日 ～ 8月2日	295	馬 星華
33	蔚山大学校デザイン学部視覚デザイン専攻海外卒業作品展	交流ギャラリー	8月4日 ～ 8月9日	261	全 聖福
34	児童絵画展	交流ギャラリー	8月11日 ～ 8月16日	1,097	日本教育公務員弘済会福岡支部
35	2016福岡 韓国 美術大展	交流ギャラリー	8月18日 ～ 8月23日	391	Galaxy & Phoin Art Project
36	九州産業大学芸術学部写真映像学科百瀬ゼミナール写真展	企画ギャラリーA	8月25日 ～ 8月30日	905	九州産業大学芸術学部写真映像学科 百瀬ゼミナール
37	荒巻ゼミナール写真展	企画ギャラリーB	8月25日 ～ 8月30日	616	九州産業大学芸術学部映像学科 荒巻ゼミナール
38	九州産業大学芸術学部写真映像学科進藤ゼミナール写真展「フィールド」	企画ギャラリーC	8月25日 ～ 8月30日	513	進藤 環
39	福岡インディペンデント映画祭	交流ギャラリー	8月25日 ～ 8月30日	759	福岡インディペンデント映画祭実行委員会
40	福岡芸術写真造形教室展	交流ギャラリー	9月1日 ～ 9月6日	1,393	空間芸術 TORAM
41	アートたけし展	企画ギャラリーA, B, C	9月3日 ～ 10月10日	18,082	毎日新聞福岡本部 西部事業部
42	ART FAIR ASIA / FUKUOKA 2016アワード	交流ギャラリー	9月8日 ～ 9月13日	955	ART FAIR ASIA 実行委員会
43	フクオカ・フォトフェスティバル2016韓国交流写真展	交流ギャラリー	9月15日 ～ 9月20日	986	フォトフェスティバル実行委員会
44	第6回 松田朴伝 社中展	交流ギャラリー	9月22日 ～ 9月27日	709	松田 朴伝
45	写真展	交流ギャラリー	9月29日 ～ 10月4日	1,061	日本風景写真協会
46	第8回福岡読売写真クラブ作品展	交流ギャラリー	10月6日 ～ 10月11日	693	福岡読売写真クラブ
47	第3回天神アートビエンナーレ・新世紀アートフロンティア	交流ギャラリー	10月13日 ～ 10月18日	619	福岡文化連盟
48	世界名作劇場展	企画ギャラリーA, B, C	10月15日 ～ 11月20日	2,032	テレビ西日本
49	第46回福岡市高齢者美術展	交流ギャラリー	10月20日 ～ 10月25日	807	公益社団法人福岡市老人クラブ連合会
50	第20回「曹亜鋼 水墨芸術学院」福岡地区作品展	交流ギャラリー	10月27日 ～ 11月1日	435	曹亜鋼 水墨芸術学院
51	pojagi settamポジャギ教室作品展	交流ギャラリー	11月3日 ～ 11月8日	653	pojagi settam
52	第37回中央区市民文化祭美術作品展	交流ギャラリー	11月10日 ～ 11月15日	658	中央区市民の祭り運営委員会
53	第32回城南区市民アート展	交流ギャラリー	11月17日 ～ 11月23日	842	ふれあい城南運営委員会・城南区役所
54	博多三傑展～仙厓・溪仙・善三郎～	企画ギャラリーA	11月25日 ～ 11月29日	1,010	博多三傑展実行委員会
55	2016 極彩華麗膠彩画 黄鴻基展	企画ギャラリーB	11月25日 ～ 11月29日	598	九州台日文化交流会
56	西日本版画協会展	企画ギャラリーC	11月25日 ～ 11月29日	495	西日本版画協会
57	第39回福岡市退職小学校長会作品展	交流ギャラリー	11月25日 ～ 11月29日	453	福岡市退職小学校長会
58	福岡市障がい児・者美術展	企画ギャラリーA, B, C	12月1日 ～ 12月6日	1,404	福岡市障がい児・者美術展実行委員会
59	第36回南区美術展	交流ギャラリー	12月1日 ～ 12月6日	749	福岡市南区市民の祭り運営委員会
60	オール西南美術展	企画ギャラリーA, B, C	12月8日 ～ 12月13日	1,213	西南学院大学学術文化会OB・OG連合会

No.	展覧会名	会場	会期	観覧者数	主催者
61	行動美術福岡展	交流ギャラリー	12月8日 ～ 12月13日	683	行動美術会
62	セルロース ウシジマ トモコ インスタレーション展	交流ギャラリー	12月15日 ～ 12月20日	443	牛島 智子
63	篠山紀信展	企画ギャラリーA, B, C	12月17日 ～ 2月12日	50,461	読売新聞社西部本社事業部
64	菅倫行写真展「命の輝き」	交流ギャラリー	12月22日 ～ 1月3日	492	菅 倫行
65	第22回福岡県幼児画展	交流ギャラリー	1月5日 ～ 1月10日	2,772	西日本新聞社
66	佐伯和子の絵画&オリジナルジュエリー展	交流ギャラリー	1月12日 ～ 1月17日	828	佐伯 和子
67	第46回世界児童画展 福岡・佐賀県展	交流ギャラリー	1月19日 ～ 1月24日	1,252	公益財団法人 美育文化協会
68	日本結び文化展 i n 福岡	交流ギャラリー	1月26日 ～ 1月31日	1,144	日本結び文化学会
69	平成28年度博多区文化・芸術展	交流ギャラリー	2月2日 ～ 2月7日	718	まつりはかた実行委員会
70	夢野久作のオール・ブリュット展	交流ギャラリー	2月9日 ～ 2月14日	974	ハカタ・リバイバル・プラン
71	ファインアート展（福岡市中学校特別支援学級合同作品展）	企画ギャラリーA, B	2月16日 ～ 2月21日	1,484	福岡市中学校知的障がい教育研究会
72	「Ken De Works2016卒展」近畿大学産業理工学部建築・デザイン学科平成28年度卒業設計・製作作品展	企画ギャラリーC	2月16日 ～ 2月21日	509	近畿大学産業理工学部建築・デザイン学科
73	第18回卒業制作展+アジアデザイン交流展	交流ギャラリー	2月16日 ～ 2月21日	697	学校法人双葉学園 福岡デザイン専門学校
74	九州産業大学芸術学部/大学院芸術研究科 卒業・修了制作展	企画ギャラリーA, B, C	2月23日 ～ 2月28日	1,059	九州産業大学芸術研究科, 芸術学部
75	第57回 福岡大学美術部展	交流ギャラリー	2月23日 ～ 2月28日	404	福岡大学美術部
76	2016 アジアデジタルアート大賞展 FUKUOKA	企画ギャラリーA, B, C	3月2日 ～ 3月7日	810	2016 アジアデジタルアート大賞実行委員会
77	九州大学書道部創部55周年記念展	交流ギャラリー	3月2日 ～ 3月7日	395	九州大学書道部
78	福岡市書道協会展	企画ギャラリーA, B, C	3月9日 ～ 3月14日	1,168	福岡市書道協会
79	福岡教育大学大学院美術教育コース 修了制作展	交流ギャラリー	3月9日 ～ 3月14日	397	福岡教育大学・大学院教育学研究科 教育科学専攻美術教育コース28期生
80	国際美術書道展	企画ギャラリーA	3月16日 ～ 3月21日	600	NPO法人日中国際交流センター
81	奥川 水穂パッチワーク教室グループ展	企画ギャラリーB	3月16日 ～ 3月21日	1,057	奥川 水穂
82	第4回 日韓交流展～十人十色～	企画ギャラリーC	3月16日 ～ 3月21日	457	第4回日韓交流展十人十色実行委員会
83	写真展 One Day , in a City	交流ギャラリー	3月16日 ～ 3月21日	393	鶴崎 政志
84	第2回 躍動する現代作家展	企画ギャラリーA, B, C	3月23日 ～ 3月28日	1,355	空間芸術 TORAM 田畑 豊
85	博多湾～海と共に生きる～	交流ギャラリー	3月23日 ～ 3月28日	1,465	一般社団法人 ふくおかFUN
86	第21回 福岡市美術連盟展	企画ギャラリーA, B, C	3月30日 ～ 4月4日	483	福岡市美術連盟
87	馮 峰 水墨版画芸術展	交流ギャラリー	3月30日 ～ 4月4日	178	九州華僑華人文学芸術家連合会

平成28年度 あじびホール利用状況（3月末現在）

福岡アジア美術館

No.	催事名称	開催月日	入場者数	主催者
1	イタリア映画	4月4日	64人	福岡日伊協会
2	箏・三絃・尺八4月月例発表会	4月10日	48人	福岡三曲協会
3-5	ショートフィルム共同制作ワークショップwithアビチャッポン監督	4月15日～4月17日	210人	福岡市
6-7	第7回講談教室福岡紅塾発表会	4月22日～4月23日	410人	NPO法人金印倶楽部
8	第7回ボランティア養成研修①	4月26日	42人	アジア美術館
9	第7回ボランティア養成研修②	4月30日	25人	アジア美術館
10	映画「駄作の中にだけ俺がいる」	5月1日	113人	三菱地所アルティウム
11	レジデンス招聘者100人記念滞在成果映像作品上映会	5月14日	30人	アジア美術館
12	ふるさとの歴史と文化「遊学講座」	5月20日	70人	一般財団法人 西日本文化協会
13	ミュージアムウィーク 三井昌志トークショー	5月21日	80人	アジア美術館
14-15	映画「ライフマップ」	5月27日～5月28日	126人	(公財)福岡市文科振興財団NPO法人まる
16	都山流尺八基本型講習会	5月29日	47人	都山流尺八楽会
17	歌舞伎入門 びっくり入門	6月4日	120人	(公財)福岡市文科振興財団
18	箏・三絃・尺八6月月例会	6月5日	83人	福岡三曲協会
19	ふるさとの歴史と文化「遊学講座」	6月10日	65人	一般財団法人 西日本文化協会
20	よしもとYOKAYOKAライブ	6月11日	200人	(株)よしもとクリエイティブエージェンシー
21	福岡フットボール映画祭	6月12日	210人	福岡フットボール映画祭
22	イタリア映画	6月13日	49人	福岡日伊協会
23-30	第55回どんたく写真コンクール	6月16日～6月24日	274人	福岡市民の祭り振興会
31	ボランティア認定式	6月25日	56人	アジア美術館
32	滞在者によるトークVol.2	6月25日	67人	アジア美術館
33-34	フランス映画祭2016 in福岡	6月26日～6月27日	50人	アンスティチュフランセ九州
35-40	国展 福岡展	6月30日～7月5日	804人	国画会 九州支部
41	イタリア映画	7月11日	68人	日伊協会
42	福岡アジア都市研究所 都市セミナー	7月14日	108人	福岡アジア都市研究所
43	国際実用音楽学会	7月15日	14人	国際実用音楽学会
44	ココロン映画会	7月16日	240人	福岡市人権センター
45	事・三絃・尺八7月月例演奏会	7月17日	102人	福岡三曲協会
46	栄陽流中央栄陽会 発表会	7月18日	70人	栄陽流中央栄陽会
47	ふるさとの歴史と文化「遊学講座」	7月22日	70人	一般財団法人 西日本文化協会



No.	催事名称	開催月日	入場者数	主催者
48	熊本地震復興支援チャリティ上映会	7月25日	75人	福岡フィルムコミッション
49	真夏の夜の椿	7月29日	80人	KAZUMI BELLYDANCE
50	トークショー「せいめいのれきし」	7月31日	83人	アジア美術館、西日本新聞社、TV西日本
51	絵本ミュージアム「みんなでつくろうどうぶつのもり」	8月13日	10人	絵本ミュージアム実行委員会
52-61	福岡インディペンデント映画祭2016	8月25日～9月4日	1,720人	福岡インディペンデント映画祭実行委員会
62-68	台湾映画祭2016	9月14日～9月20日	1,169人	台湾映画祭上映実行委員会
69-75	アジアフィルムフェスティバル2016	9月21日～9月27日	1,333人	シンプス(株)、福岡市
76	第359回国連講演会	9月29日	100人	日本国際国連協会福岡県本部
77	ふるさとの歴史と文化「遊学講座」	9月30日	70人	一般財団法人 西日本文化協会
78	声優スタジオ2016設営	10月1日	6人	CROSS FM
79	映画「LISTEN リッスン」	10月1日	120人	文化芸術振興財団
80	声優スタジオ2016設営	10月2日	77人	CROSS FM
81	イタリア映画	10月3日	48人	福岡日伊協会
82	都市ビル環境ノ日シンポジウム	10月4日	120人	福岡県ビルメンテナンス協会
83	つきなみ講座	10月15日	13人	福岡市美術館
84	ひなたの会	10月16日	80人	中村 陽
85	有田小学校	10月21日	122人	アジア美術館
86	ふるさとの歴史と文化「遊学講座」	10月21日	55人	一般財団法人 西日本文化協会
87	博多菊丸独演会	10月23日	120人	博多菊丸会
88	福岡市高齢者美術展表彰式	10月25日	50人	福岡市老人クラブ連合会
89-92	智書作品展	11月3日～11月6日	456人	林田智子
93-94	中央区市民文化祭美術作品展表彰式	11月12日～11月13日	83人	中央区市民の祭り運営委員会
95	第2回都市セミナー	11月14日	70人	福岡アジア都市研究所
96	箏・三絃・尺八11月月例演奏会	11月20日	75人	福岡三曲協会
97	城南区市民アート展表彰式	11月23日	100人	ふれあい城南運営委員会
98	イタリア映画	11月28日	64人	福岡日伊協会
99	第6回ひなたの会	12月3日	70人	ひなたの会
100	第36回南区美術展表彰式	12月4日	50人	南区市民の祭り運営委員会
101-102	福岡シネマフェスティバル2016	12月10日～12月11日	131人	福岡シネマフェスティバル2016実行委員会
103	URC都市セミナー	12月13日	90人	福岡アジア都市研究所
104	映画上映「記憶との対話」	12月15日	70人	文化芸術振興財団
105	九州アプリチャレンジ・キャラバン2016コンテスト	12月17日	60人	実行委員会

No.	催事名称	開催月日	入場者数	主催者
106	篠山紀信トークショー	12月18日	120人	読売新聞社、FBS
107-108	月と太陽 アリアとカノン	12月22日 ～ 12月23日	99人	松本エリダ・マリア
109	事・三絃・尺八12月月例演奏会	12月25日	73人	福岡三曲協会
110	<風景>としてみえてくるもの	1月8日	80人	末石 陽出子
111	箏・三絃・尺八1月月例演奏会	1月15日	55人	三曲協会
112	つきなみ講座	1月21日	52人	福岡市美術館
113	ヤッラー バリーフェス2017	1月22日	159人	ラスク・カマル
114-119	第22回学校飼育動物スケッチコンクール	1月23日 ～ 1月29日	386人	一般社団法人 福岡市獣医師会
120-121	博多区文化・芸術展	2月1日 ～ 2月2日	73人	まつりはかた実行委員会
122	ひなたの会	2月4日	100人	ひなたの会
123	三曲協会2月月例演奏会	2月5日	65人	福岡三曲協会
124	イタリア映画鑑賞会	2月7日	67人	福岡日伊協会
125	福岡市図工教育研究会2月例会	2月11日	50人	福岡市図工教育研究会
126	私たちが力になります待っていますSOS「シンポジウム	2月12日	120人	一般社団法人 ストリートプロジェクト
127	つきなみ講座	2月18日	23人	福岡市美術館
128	創造のエコロジー展 アーティスト・トーク	2月19日	57人	アジア美術館
129	平成29年福岡三曲協会定期総会	2月20日	65人	福岡三曲協会
130	福岡市・ぐるなび 包括連携協定事業セミナー	2月23日	48人	株式会社ぐるなび
131	アジアデジタルアート大賞展2016 シンポ&表彰式典	3月5日	120人	アジアデジタルアート大賞展実行委員会
132	フィリピン現代美術入門(2回目)	3月11日	53人	アジア美術館
133-134	福岡市文化賞・文学賞贈呈式	3月17日 ～ 3月18日	140人	福岡市
135	ふくおかのうみ展 トークイベント「博多湾のリアルな世界」	3月25日	184人	一般財団法人 ふくおかFUN